

## 遠隔モニタリングシステムならびにデータ管理について

2020年4月8日

福山循環器病院

### ・遠隔モニタリングシステムとは

自宅にしながら、植え込まれているデバイス（ペースメーカー・ICD・CRTD）の状態や不整脈の有無を医療機関が確認することが出来るシステムです。また、データの伝送には携帯電話回線などの通信ネットワークを使用しています。通信環境により、データが伝送されない場合がありますので、ご留意下さい。

### ・緊急対応について

遠隔モニタリングシステムは緊急対応用ではありません。症状出現時は、病院へ相談して下さい。気分が悪い等で早急に医師の診察が必要な場合には、病院にご連絡下さい。また、遠隔モニタリングシステムは、「救急対応を目的として使用するものではありません」のでご注意ください。

救急車を必要とする場合には、119にご連絡下さい。

### ・個人情報に関して

患者さまのデータは、医療機関とデバイスメーカーで管理されます。厳重なセキュリティがかかった状態で取り扱われ、病院の権限のある医療従事者、権限のあるデバイスメーカー社員のみアクセス可能となっています。データは、様々な実態調査、研究等に使用される可能性はありますが、その場合は匿名化され、氏名、住所等個人情報が公開されることはありません。なお、遠隔モニタリングシステム利用の為のデータ送信機の設置にあたり、患者さまのご自宅にお伺いして取り付けをサポートする場合があります。その際においても患者さまの住所等個人情報を設置業者にお伝えする場合があります。

患者さまのプライバシー及び個人情報の保護には細心の注意をいたします。

以上に関しまして、ご意見のある方は、福山循環器病院までお問い合わせください。